

美術科だより

第6号



美術室からのお知らせ

日程変更がある場合は、美術室前に掲示します。

今年度も夏休みに美術室開放日を設定します。ポスターコンクールなどに挑戦しようと考えている人は、日程を確認して、美術室に質問しに来るようにしてください。都合がつかない場合は、夏休み前に必ず先生のところへ相談に来ること！！

ポスター・宿題関係の質問できる日

7月22日(月)・23日(火)・29日(月)・31日(水)9:00-16:00 会議や面談でない時間がありますが、この日程は、学校内にいます。

全学年 「伝言鑑賞ゲーム」

4月の最初の授業は、全学年、伝言鑑賞ゲームからスタート。国立美術館のアートカードを使って、造形的なコミュニケーションで、クラスのメンバーと親くなりました。作品をよ〜くみて、作品の特徴をとらえて伝えるには、どうしたらよいか。また、作品の特徴を聞き取り、描いていくには、どのように相手から情報を引き出すのか。各学年、考えを巡らせながら、鑑賞活動に取り組んでいました。

6組では、アートカードを使った比べる鑑賞で、作品を自分なりのテーマで選んで発表したり、作品に合わせて背景の色を選んだりしました。昨年度、アートカードで鑑賞してきた2・3年生が、1年生をリードする姿が印象的でした。



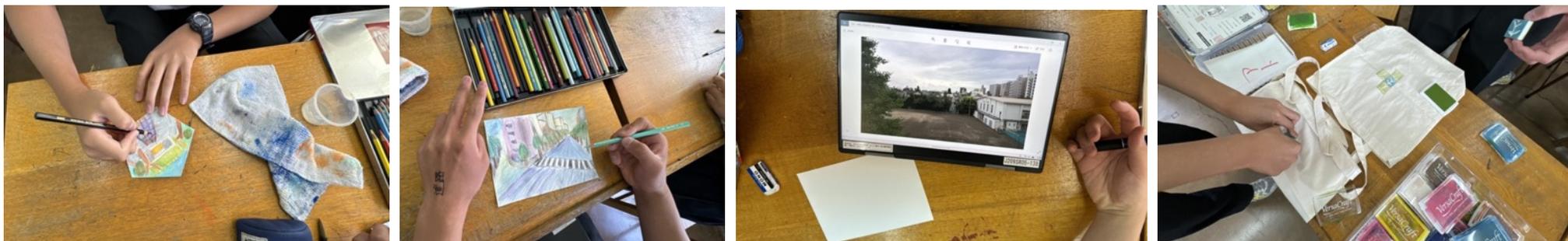
アートカードの作品は、国立西洋美術館や東京国立近代美術館で鑑賞できます！

3年生 卒業制作「私の思い出の場所 遠近感のある風景」



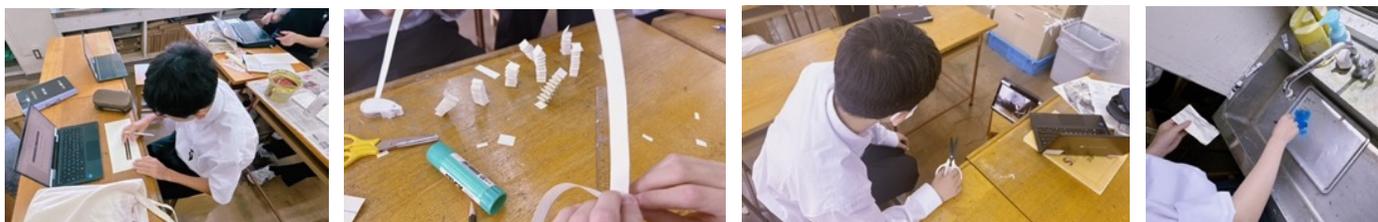
卒業制作第1弾として、これまで見慣れた学校や通学路を新たな視点で捉え直し、遠近感を工夫して描いています。古今東西の様々な表現方法の作品を3週に渡りじっくり鑑賞し、形や色彩、光、イメージ、表現方法などについて深く考えました。また、作者がどんなイメージでその作品を描いたかを考えることで、表現することの意味や意義についても思いを巡らせました。タブレットで撮影したり、まとめたりしたイメージから、下描きを水彩色鉛筆でおこしました。自分自身で強く描きたい、と感じた情景から構図を検討して描くことができました。

昨年度、下書きまで行った落款用の篆書体をもとに消しゴムで彫り、作品に押ししました。早くできた生徒は、美術バックに落款を押ししました。



2年生「造形実験 -緊張感-」

今年度、1・2学期に、数回にわたって実施する「造形実験」。緊張感をテーマに、「自分なりの緊張感」について、造形的な視点で実験をしながら考えます。扱う材料や道具、進め方なども自分たちで考えます。これまでの授業展開と異なっても、全く気にせず、「自分なりの緊張感」を個人や友達と考え、いろいろ試していく2年生。みんなで実験しながら、これまで学んできた造形的な知識を整理し、みんなで共有し、新たな知識も身に付けていきます。



1回目は、教室でペンや色鉛筆を使って、2回目は、美術室で紙を使って緊張感を表現しました。2回目は、個人でも複数でもOKにしたことで、造形実験の幅が広がりました。記録はタブレットで！



1年生「色と形で遊ぼう！ イロイロな技法からイメージを広げて」

色料（絵の具）の混色や技法を試しながら、構想を広げ、表現したい色や形をつなげていきました。自分なりの「いい感じ！」「きれい！」を探します。



1年生「伝言鑑賞ゲーム2」 2年生「比べる鑑賞」

定期考査をふまえて、1年生は、クラスごとに違う作品をどうやって伝言していくかを、2年生は、美術史の学習をふまえて作風や表現の工夫について学習しました。造形的なことばが豊かになると、鑑賞で表現される文章にも奥行きが出てきました。



6組「名作のつづき」

アートカードから好きな作品を選び、その周りの世界を表現しました。想像力を豊かに働かせながら、作品と周りの形や色との関係を考え、タッチや奥行きを工夫して描くことができました。



「窓の外の世界」

カッターナイフの使い方を学習しながら、ダンボールに窓をつくります。そこから広がる世界を、イメージを広げながらつくりました。カッターできる時の力加減や窓をつくり、開いた時の奥行きなどを工夫しています。

2・3年生は、昨年度の「カッター名人になろう！」の学習で得た知識や技能をいかし、1年生に切り方を教える姿がみられました。展示の時は、廊下のガラスに飾ります。

2年生「2年生の決意の1文字」



手のひらサイズの正方形のキャンバスに、「2年生で決意する1字を絵文字に変換しながら描いていきます。今回は、メディウム（展色剤）とポスターカラーを混ぜて絵の具に粘り気やツヤを出して塗っています。絵の具の混ぜ方やタッチで画面に表情が出て、より自分のイメージに合わせて制作を進めることができました。



3年生「もうすぐ中学校生活最後の夏休みを迎える今の自分の気持ち」

9月に卒業制作立体編に取り組む3年生。7月の2回の授業では、紙粘土を使って抽象的に自分自身と向き合い、抽象的に思いを形と色で表現しました。ミニ彫刻として粘土に直接色を混ぜたり、後から塗ったりして、木の台座と組み合わせました。ほとんどの生徒は、小学校図画工作の時間以来の紙粘土の感触に、キャピキャピ、ワチャワチャしながら、自分の心の中のイメージをまとめていました。

